

## >学会ジョイントプログラム 1

開催形式: オンデマンド配信

### 【日本東洋医学会ジョイントプログラム】

東洋医学(漢方・鍼灸)「次の一手」企画第二弾 高齢者医療でよくある症状編  
(実行委員会企画)

企画責任者	榎尾 明彦(給田ファミリークリニック)
座長	山川 淳一(JA 厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院 ) 寺澤 佳洋(医療法人 弘池会 口之津病院)
講演	吉永 亮(飯塚病院東洋医学センター 漢方診療科) 榎尾 明彦(給田ファミリークリニック) 佐藤 寿一(名古屋大学医学部附属病院 総合診療科) 山口 智(埼玉医科大学病院 東洋医学科)
質疑	榎尾 明彦(給田ファミリークリニック) 佐藤 寿一(名古屋大学医学部附属病院 総合診療科) 吉永 亮(飯塚病院東洋医学センター 漢方診療科) 山口 智(埼玉医科大学病院 東洋医学科)

#### [開催の目的]

2019年の学術大会に学会ジョイントプログラムとして、プライマリ・ケアのための漢方「次の一手」を開催した。今回第2弾として、高齢者の諸症状に関して取り上げる。

プライマリ・ケアで漢方薬を活用している医療従事者は多い。しかし、各症候への第一選択とされる漢方薬で症状の緩和が得られなかった場合には、処方選択は行き詰まりがちで、漢方特有の考え方が必要となることも少なくない。そのため漢方薬の適応自体をあきらめるケースも散見され、東洋医学を学んでも実践に繋がられない一因であるとも考えられる。

そこで、各症候に対して、西洋医学的な精査を行うのは前提として、第一選択の漢方薬の効果が不十分な場合の「次の一手」を本企画で紹介する。

患者の訴え、所見から、病態を東洋医学的に理解する方法を学ぶことで、日常診療・ケアにおける東洋医学的アプローチの有効性について、参加者により広く知ってもらうことを目的とする。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大会 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## [企画概要]

プライマリ・ケアにおいてよく出会う症候のうち、高齢者の「こむら返り(腓腹筋けいれん)」「腰下肢痛」「認知症の行動・心理症状(BPSD : Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)」に関して取り上げる。また上記 3 症候に対する、比較的簡便な鍼灸の活用についても紹介したい。

各担当講師が、初級者にも理解できるように東洋医学的視点を解説する。漢方や鍼灸の基本的な概念、各症候について第一選択の処方が奏効しなかった場合の考え方、検討される「次の一手」を紹介する。

後半の討論では、東洋医学的な Tips や、プライマリ・ケアにおける漢方薬や鍼灸の活用に関する疑問点等について講師間で discussion を行う。いわゆる簡便な「マニュアル」には書かれていないトピックスでも、参加者に日常診療ですぐに役立ち、実践できるような内容にしたいと考える。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

● 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
● 会場 オンライン開催  
● 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >学会ジョイントプログラム 2

開催形式: オンデマンド配信

### 【日本感染症学会ジョイントプログラム】

続・Meet the expert

感染症専門医はプライマリ・ケア医からの疑問に応えられるのか？

(実行委員会企画)

**企画責任者** 鈴木 富雄(大阪医科大学附属病院総合診療科)  
**座長** 鈴木 富雄(大阪医科薬科大学病院 総合診療科)  
早川 佳代子(国立国際医療研究センター  
国際感染症センター総合感染症科)  
**演者** 山口 征啓(コネクト合同会社)  
岸田 直樹(北海道大学社会医学分野 衛生学教室)

#### [開催の目的]

日本感染症学会とのジョイント企画であり、以前好評であった企画の続編である。プライマリ・ケア医は日常診療の中で多くの感染症の診療を行っているが、診断のための検査、抗菌剤の選択などに関して、エビデンスと実際の診療とのギャップに悩むことも多く、日常診療における疑問に対して、成書に全ての答えが載っているわけでもない。現場からの率直な疑問に対して、感染症の専門家からの実践的な回答を得て、明日からのプラクティスの糧にするという目的の企画である。

#### [企画概要]

前回と同様に、日本プライマリ・ケア連合学会の会員にメールで呼びかけて、プライマリ・ケアの現場での感染症の診療に関して、感染症専門医に聞きたいこと(特に実際の診療の中でのジレンマや課題など)を、前もって集め、それに対して会場の感染症専門医が詳細な解説を交えながら応えていくという形を取る。今回はオンデマンドでの企画という制約があり録画収録になるので、リアルタイムでの視聴者との質疑応答が難しく、その分、前もっての会員からの質問を可能な限り広く集めたい。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

【日本高血圧学会ジョイントプログラム】

プライマリ・ケアにおけるこれからの高血圧診療(実行委員会企画)

企画責任者 勝谷 友宏(医療法人社団 勝谷医院)

座長・演者 勝谷 友宏(医療法人社団 勝谷医院)

演 者 日下 美穂(日下医院)

八田 告(八田内科医院)

吉田 哲郎(遠賀中間医師会おんが病院 循環器内科)

水田 栄之助(独立行政法人 労働者健康安全機構

山陰労災病院 第三循環器内科)

[開催の目的]

新型コロナウイルス感染症の拡大は、日常診療を一変させ、受診抑制に伴う脳卒中、心筋梗塞など重篤な脳心血管病の増加や対応の遅れが懸念されている。これら重篤疾病の最大の要因が高血圧であり、これまで以上の対応が求められるにも関わらず、医師のほぼ全員が高血圧治療に満足しているという Hypertension Paradox が世界的な問題となっている。SPRINT 試験発表後、日本の高血圧治療ガイドライン(JSH2019)における降圧目標もより厳格化されたが、プライマリケアにおいて高血圧治療に十分に活かされていないのが現状である。高血圧診療の担い手の殆どが開業医を中心とするプライマリケア医である現状を踏まえ、日本高血圧学会の実地医家部会で活躍する医師を中心に、新しい日常における高血圧診療の問題点を一緒に考えてみたい。

[企画概要]

プライマリケア医にとって高血圧の治療が、外来で血圧を測って、投薬を行うことだけに終始していないだろうか。患者を診ることの最大の目的は「健康寿命の延伸」であり、最大の障壁である脳心血管病発症を予防することが治療のゴールである。このためには、減塩をはじめとする生活習慣への介入や、二次性高血圧の除外診断を行うための病診連携、脳卒中・循環器疾患対策基本法の制定をふまえた行政との連携、新しい日常におけるプライマリケア医としての高血圧への対応、現在の高血圧診療の現状を正確に把握すること(J-DOME 研究)など、様々な角度から高血圧による合併症を阻止する視点が求められる。本シンポジウムでは、日本高血圧学会実地医家部会のメンバーを中心に、これからの高血圧診療のツボを皆さんと一緒に考えてみたい。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
日本プライマリ・ケア連合学会  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

【日本心身医学会/日本心療内科学会ジョイントプログラム】

不定愁訴が好きになる 90 分

～心療内科医と考える。次の一手が見えるマインドとスキル～(実行委員会企画)

**企画責任者** 西山 順滋(関西医科大学心療内科学講座/同附属病院総合診療科)  
司会進行・発表者

発表者 西山 順滋(関西医科大学心療内科学講座/同附属病院総合診療科)  
太田 大介(聖路加国際病院 心療内科)

久我原 明朗(くがはら内科クリニック)

症例提示 佐藤 弘太郎(北海道家庭医療学センター/本輪西ファミリークリニック)

[開催の目的]

プライマリ・ケア(以下、PC)領域の医療者に「(少しでも)不定愁訴が好き??」と提供いただけることを目的として企画しました。

「今日は不定愁訴で来ました」と話す患者はいません。様々な症状を訴え、検査をしても明らかな異常を認めない患者に対し、医療側が「不定愁訴患者」と認識することで不定愁訴患者が生まれます。そのような患者の対応を医学部で教わることなく、「多くの患者が待っている状況で診療に長時間を要し、挙句の果てに患者は満足されずに帰って行かれた…」なんて経験をされた方も少なからずおられるのではないのでしょうか。

一方で、不定愁訴患者を上手く対応できることで診療の効率が増し、患者満足度の向上につながることは言うまでもありません。

本プログラムでは日本心身医学会、日本心療内科学会に所属する心療内科医が日常診療で行っている工夫やコツ、さらに欧米での不定愁訴診療への取り組みにも言及します。

[企画概要]

「不定愁訴」は近年、医学的に説明困難な身体症状(Medically unexplained symptoms: 以下、MUS)と表現され、PC 領域、二次医療圏を受診する患者の15～53%に該当するとの報告があります。

心療内科は心身医学を礎に医療を提供する診療部門で、心身症の診療を専門としており、PC 領域と同様に多くの MUS 患者の対応をしてきた歴史があります。

医療が無償で提供されるヨーロッパ諸国では PC 医により効果的な MUS への介入が求められており、デンマークにおいては PC 医向けに MUS の診療の流れをマニュアル化した教育プログラム(以下、TERM)が広く採用され効果



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

を上げています。

本企画では、心療内科医が実践している MUS 診療について、TERM の内容も一部含めて紹介します。後半は家庭医より症例提示をしていただき、不定愁訴についての熱いディスカッションを交わします。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

- 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
- 会場 オンライン開催
- 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## >学会ジョイントプログラム 5

開催形式: オンデマンド配信

### 【日本病院総合診療医学会】

多様性が求められる総合診療の未来

-デジタルテクノロジーは総合診療をどう変えるか?-

(実行委員会企画)

**企画責任者** 多胡 雅毅(佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)  
**座長** 内藤 俊夫(順天堂大学医学部 総合診療科学講座)  
多胡 雅毅(佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)  
**パネリスト** 川島 篤志(市立福知山市民病院)  
森川 暢(市立奈良病院)  
志水 太郎(獨協医科大学 総合診療医学講座)  
和足 孝之(島根大学 総合診療センター)  
鋪野 紀好(千葉大学医学部附属病院 総合診療科)

### [企画概要]

総合診療医が活躍する場は多様であり、技術向上が著しい AI や ICT が総合診療の未来を大きく変えることは想像に難くない。本セッションでは地域医療の第一線で活躍する総合診療医と、病院総合診療医学会で活躍する大学に所属する病院総合診療医が、各々の立場で総合診療×AI&ICTについて、主に地域包括ケア、連携、組織運営、診断学、医学教育、臨床研究などをテーマとしてディスカッションを行う。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
~多様性を受け入れ活かすケア~

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)~23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)~7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大会 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

## 学会ジョイントプログラム 6

開催形式: オンデマンド配信

### 【日本在宅医療連合学会ジョイントプログラム】

「在宅 x ICT x 多職種 x コロナ = ?」

ポストコロナ時代の ICT を駆使した在宅医療の多職種連携

(実行委員会企画)

企画責任者	江口 幸士郎(今立内科クリニック)
座長	江口 幸士郎(今立内科クリニック) 木村 琢磨(埼玉医科大学総合診療内科/HAPPINESS 館クリニック)
シンポジスト	内田 直樹(医療法人すずらん会 たろうクリニック) 上村 智子(ホームケアクリニック横浜港南) 小倉 和也(はちのへファミリークリニック)

#### [開催の目的]

コロナ後のプライマリ・ケア、在宅医療、多職種連携のあり方を見据え、コロナ禍で進んだ ICT の取り組みのうち、どの部分をさらに発展させ、広めていくべきか、またそのために超えるべきハードルは何か、議論を行いたい。

#### [企画概要]

ICT による日々の連絡やモニタリングツールなどで在宅医療の視界は広がります。訪問診療という「点」から「線」、更には多職種の視点を加えた「面」の情報へ繋がり、その進歩は、新型コロナウイルスに伴うオンライン診療や Web による担当者会議などの拡大で加速しました。

しかし同時に、新型コロナウイルス対策として、近距離での長時間の交流が強く制限され、これまでの多職種連携、関係構築の手段が封じられた地域も多いでしょう。ICT 化に取り残されている地域や職種が多い一方で、オンライン診療を訪問診療や緊急往診とどう使い分けるかという問いもあるかも知れません。

本シンポジウムでは、ポストコロナ時代を見据え、ICT はプライマリ・ケア現場において、どのように在宅医療の多職種連携へ寄与しうるのか、先進的な取り組みを行うシンポジストにご登壇を頂き、現時点での課題を整理しつつ、その展望について皆様と議論します。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>



## >学会ジョイントプログラム

開催形式:オンデマンド配信

### 【日本臨床疫学会ジョイントプログラム】

日本臨床疫学会は、クリニカルマインドとリサーチマインドを有する若手医療者が主役の学会です(実行委員会企画)

**企画責任者** 福原 俊一(日本臨床疫学会 代表理事/京都大学/  
Johns Hopkins 大学)

**演 者:** 福原 俊一(日本臨床疫学会 代表理事/京都大学/  
Johns Hopkins 大学)

青木 達也(橋本市民病院 総合内科)

宮下 淳(福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー 准教授/  
日本臨床疫学会 上席専門家)

### [企画概要]

日本臨床疫学会は、クリニカルマインドとリサーチマインドを有する医療者による質の高い研究を、ビッグデータなどを活用した研究などの振興と研究人材育成を通じて推進し、現在の医療が直面する諸課題の解決に貢献することをミッションとして2016年発足しました。また、臨床疫学専門家制度や各臨床学会との組織的連携、など活発に行ってきました。英文学会誌も出版し、会員も順調に増え活況を呈しております。<http://www.clinicalepi.org/>

日本臨床疫学会は、理事や偉い方々のための学会ではなく、クリニカルマインドとリサーチマインドを有する若手医療者が主役の学会です。

日本臨床疫学会は、医療に従事しながら研究にも真摯に取り組む若手研究者が日々の研鑽の成果を発表し、仲間と出会い、切磋琢磨する場を提供します。

日本プライマリケア連合学会、米国内科学会(ACP) Japan Chapterとも2019年より連携を開始し、PCR Connectを毎年開催してきました。

<https://pcrconnect.org/> 本年も12月3、4日に、青木拓也氏(慈恵会医科大学)を会長としてオンラインで開催します。奮ってご参加ください。

このセッションでは、まず福原が日本臨床疫学会の理念と活動をご紹介します。次に登場する青木達也氏(橋本市民病院 総合内科



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
学術大会  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受け入れ活かすケア～

会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)  
会場 オンライン開催  
大場 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>

<https://www.hashimoto-hsp.jp/news/GeneralistFellowship.html> )は、当学会の若手会員で、ジェネラリストとして地域医療に貢献しながら、Johns Hopkins 大学オンライン日本プログラムで MPH を取得し、同時に英文原著論文を出版するという困難なゴールを3年がかりで達成されました。臨床の第一線で勤務すると同時に研究を学び実践するという困難な道を歩まれた経験談をお話いただきます。最後に、当学会の上席専門家で、今や日本のジェネラリストの名指導医として活躍中の福島県立医科大学 准教授(白河総合診療アカデミー <http://www.shirakawa-ac.jp/> )宮下淳氏が、Advance Care Planning の研究を例としてお話されます。初期の論文を国際誌から10回以上リジェクトされ続けて折れそうになっても諦めず投稿し続けた氏の不屈の精神には敬服するばかりです。

最後に3人で行った鼎談を供覧します。



第12回 The 12th Annual Conference of Japan Primary Care Association  
**日本プライマリ・ケア連合学会**  
**学術大会**  
プライマリ・ケア×ダイバシティ  
～多様性を受けいれ活かすケア～

- 会期 ライブ配信 2021年5月21日(金)～23日(日)  
オンデマンド配信 2021年5月21日(金)～7月21日(水)
- 会場 オンライン開催
- 大会長 大野 每子 (唐津市民病院きたはた 院長)



<https://www.c-linkage.co.jp/jpca2021>